

平成 2 8 年度
「運営に関する計画」

大阪市立九条北小学校

平成 2 8 年 4 月

◎学校教育目標

人間性豊かで 実践力のある児童の育成をめざす。

(校訓)

・よく考える子(知) ・すなおな子(徳) ・がんばる子(体)

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成する。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○児童アンケートにおいて、「授業で自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる」では、中期目標を 10 ポイント上回ることができた。しかし、「授業がわかりやすいと思う児童を 85%以上にする」では、数値目標を 1 ポイント下回り、学習が「わかりやすく楽しい」と回答する児童の割合が、学年が上がるほど低くなる傾向が顕著になってきている。そこで、タブレット導入に伴い、デジタル教科書や書画カメラ、プロジェクターなどの ICT 機器を活用して、児童の興味・関心を高め、全教員の授業研究などで授業力の向上を図り、児童が「わかりやすい」と思う授業の構築を一層目指すとともに、今後も児童の主体的な学びを実現するための授業改善をすすめていく。

○全国学力・学習状況調査においては、国語科・算数科ともに基礎的・基本的な学習内容の定着に課題が見受けられ、全体の底上げを図りながら学力の向上に努めていく必要がある。国語科・算数科の基礎・基本の定着を図っていくとともに、高学年児童の学習に対する意欲を高めるための指導法を一層工夫していく。

○学校生活における規範意識に課題が残っているので、今後も、児童会と連携した取り組みをすすめていく。年間指導計画に沿った道徳教育の推進、言葉遣いアンケートやいじめアンケートをもとに学級の実態にあわせた指導をすすめたので、相手の気持ちを考える意識を高めることができた。今後も、道徳・人権教育の充実を図るとともに、あらゆる場を通して「相手の気持ちを考える」意識を高めていく指導に努める。

○保健強調週間での「ほけんがんばりカード」の活用、「手洗いの歌」の放送などの取り組みを行ってきたので、手洗いやうがい、給食後の歯みがきの習慣が身についた。また、朝の健康観察での確認や発育測定での保健指導は効果的であったので、継続して取り組んでいく。今後も、保健だよりなどによって、保護者への更なる啓発を行うとともに、習慣化できていない児童への個別の声かけに努めていく。

中期目標

【視点 学力の向上】

○平成２８年度末の児童アンケート「授業で自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる」と答える児童の肯定的回答率の割合を８０％以上にする。

○平成２８年度の「大阪市小学校学力経年調査」（３～６年の国・算）において、大阪市平均正答率を上回るようにする。

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成２８年度末の児童アンケート「相手の気持ちを考え、仲良く助け合って活動している」と答える児童の肯定的回答率の割合を９０％以上にするとともに、「よくあてはまる」と答える児童の割合を５０％以上にする。

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

○平成２８年度末の児童アンケート「手洗い・うがい・歯みがき・爪切りを進んでしている」と答える児童の肯定的回答率の割合を９０％以上にする。

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

２ 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

児童アンケートにおいて

○調べ学習の方法を身につけることができたか。（低学年８５％を目標とする。）

○ＩＣＴを活用した調べ学習の方法を身につけることができたか。（高学年８０％を目標とする。）

○授業がわかりやすいと思う児童を８５％以上にする。

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

児童アンケートにおいて、以下の項目で肯定的回答率の割合が（ ）内以上になるようにする。

○「児童会活動や学級会活動では、相手の気持ちを考えながら工夫して活動している。」（８５％）

○「廊下、階段を正しく歩き、安全に気をつけている。」（８０％）

○「相手の気持ちを考え、仲良く助け合って活動している。」（８５％）

○「学校が美しくなるように掃除などをがんばっている。」（８５％）

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

○児童アンケートで「手洗い・うがい・歯みがき・爪切りを進んでしている」と答える児童の肯定的回答率の割合を９０％以上にする。

（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）

大阪市立九条北小学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート) 1

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおり達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めもせず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況	
【視点 学力の向上】 児童アンケートにおいて ○調べ学習の方法を身につけることができたか。(低学年85%を目標とする。) ○ICTを活用した調べ学習の方法を身につけることができたか。 (高学年80%を目標とする。) ○授業がわかりやすいと思う児童を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)(マネジメント改革関連)(ガバナンス改革関連)	達成率	評価基準

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【教科・総合的な学習の時間】 ◎基礎的・基本的な内容の定着を図る。(カリキュラム改革関連) ◎情報教育年間指導計画に沿って各学年に応じた活動を充実させる。(マネジメント改革関連) ◎課題解決に向けて主体的に学ぶ子どもを育てる。(ガバナンス改革関連)	
指標 ◇基礎学力の向上を図るため、朝学習などで計算や漢字、音読や視写など内容を工夫して継続的に取り組む。 ◇学びサポーターの活用により、個に応じた指導を充実させる。 ◇全ての学年・学級でICTを活用した授業実践を工夫する。 ◇体験活動を生かした授業展開を工夫する。 ・市立科学館・大阪歴史博物館の見学の実施 ・地域人材を活用した地域の町工場や商店街の見学、福祉体験等の実施 ・劇鑑賞会の実施 ・スポーツ交歓会や区音楽交流会への参加	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 ◎「子どもが意欲的に学ぶICT機器を効果的に活用した指導法の工夫」を主題とした指導法の研究。 ◎授業研究を行い、指導法の研究に努める。(カリキュラム改革関連)	
指標 ◇全教職員の共通理解のもと、研究主題を設定し、継続研究を行う。 ◇指導力向上に向けた校内研修を年間7回以上行う。 ◇教員全員が年間1回以上の授業研究を行う。	

<p>取組内容③【ＩＣＴを活用した教育の推進】</p> <p>◎授業の中で効果的なＩＣＴの活用を図る。</p> <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>◇情報教育年間計画を作成し、学年の実態に応じたパソコンルームを活用した授業について工夫を図る。</p> <p>◇ICT 機器を機能的且つ効果的に活用できるよう、配置、使用方法について校内で整備を行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【年度目標】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容①】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容②】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容③】について</p> <p>○</p>	
次年度への改善点	
<p>【年度目標】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容①】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容②】について</p> <p>○</p> <p>【取り組み内容③】について</p> <p>○</p>	

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおり達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組みもせず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況	
【視点 道徳心・社会性の育成】 児童アンケートにおいて、以下の項目で肯定的回答率の割合が（ ）内以上になるようにする。 ○「児童会活動や学級会活動では、相手の気持ちを考えながら工夫して活動している。」（85%） ○「廊下、階段を正しく歩き、安全に気をつけている。」（80%） ○「相手の気持ちを考え、仲良く助け合って活動している。」（85%） ○「学校が美しくなるように掃除などをがんばっている。」（85%） （カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）（ガバナンス改革関連）	達成率	評価基準

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【特別活動】 ◎児童会活動や学級会活動では、児童の主体性を養い、学校・学級生活の充実と向上を図るために、工夫して活動できるようにする。（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連） 指標 ◇各委員会で協力して廊下歩行指導を行っていく。 ◇全校オリエンテーリング等の学校行事を企画し、児童の主体性を養う。 ◇活動前に、リーダー会議を充実させ、活発な話し合い活動ができるようにする。	
取組内容②【安全教育の推進】 ◎日々の指導や廊下歩行の指導、せいかつ週間、看護当番の設定によって正しい歩行と身だしなみ（黄帽・名札・服装）を整えることができるようにする。（マネジメント改革関連） 指標 ◇歩行指導週間を設け、児童会活動と連携しながら、子どもたちが主体的に正しい歩行ができるようにする。 ◇毎日の看護当番により身だしなみが整うようにする。	
取組内容③【道徳教育の推進】 ◎相手の気持ちを考え、仲良く活動しようとする心を育てる。（カリキュラム改革関連） 指標 ◇道徳副読本やわたしたちの道徳をはじめ言葉遣いに関する内容を学期ごとに組み入れた年間指導計画に沿って道徳教育をすすめる。 ◇言葉遣いアンケートを年2回（5. 1月）に実施し、実態に合わせた指導を年間を通して進	

めていく。 ◇児童会活動や学級活動の中で「相手の気持ちを考える」ことができるような工夫した活動を取り入れる。	
取組内容④【人権を尊重する教育の推進】 ◎道徳・人権教育年間計画に沿って、各学年が実際に取り組み互いの良さや違いを認め合い助け合って活動できる集団の育成に取り組む。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ◇学期に一単元（３～５時間）各学年が人権教育に取り組む。 ◇年に一回実践報告会・人権教育研修会を行う。 ◇児童理解実践交流会を定期的に実施し、教職員全員で児童について共通理解を図る。	
取組内容⑤【美化・環境整備】 ◎掃除用具を丁寧に使って、隅々まできれいにし、道具を元の場所に戻す。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)	
指標 ◇定期的に、掃除道具の数を点検するとともに、委員会による掃除点検も引き続き行っていく。 ◇年１回、清掃週間を設け、カードを用い、清掃の様子について振り返り指導に生かす。 ◇土曜授業を活用し、保護者の協力のもと、ふれあい清掃を実施する。 ◇学級数が減少したので、掃除場所のわりあてを学期に１回ほど全体で網羅しつつ、学級の実態に応じて柔軟に取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について <input type="radio"/> 【取り組み内容①】について <input type="radio"/> 【取り組み内容②】について <input type="radio"/> 【取り組み内容③】について <input type="radio"/> 【取り組み内容④】について <input type="radio"/> 【取り組み内容⑤】について <input type="radio"/>	
次年度への改善点	
【年度目標】について <input type="radio"/>	

【取り組み内容①】について

○

【取り組み内容②】について

○

【取り組み内容③】について

○

【取り組み内容④】について

○

【取り組み内容⑤】について

○

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおり達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組みもせず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況	
【視点 健康・体力の保持増進】 ○児童アンケートで「手洗い・うがい・歯みがき・爪切りを進んでしている」と答える児童の肯定的回答率の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)	達成率	評価基準

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容【健康的な生活習慣の確立】 ◎手洗い・うがい・歯みがき・爪切りを進んでできるようにする。 <div>(カリキュラム改革関連) (ガバナンス改革関連)</div>	
指標 ◇毎朝の健康観察のときに、歯みがき・爪切りの確認をする。 ◇学期に1回ずつ保健強調週間に取り組む。 ◇児童会活動で、子どもたちが主体的に取り組めるように工夫した活動を行っていく。 ◇保健だよりを毎月配付したり、保健がんばりカードに保護者確認欄を設けたりすることで、 保護者への啓発を図る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について ○ 【取り組み内容①】について ○	
次年度への改善点	
【年度目標】について ○ 【取り組み内容①】について ○	